

土砂災害に係るコミュニティタイムラインの作成について

◆経緯

平成29年10月の台風21号によって、町内で多数の土砂災害の被害があった。その災害の対応、教訓を活かし、土砂災害タイムラインの策定を進め、平成30年度に行政タイムラインと、2地区のコミュニティタイムラインを策定した。毎年2地区ずつコミュニティタイムラインを作成している。

◆内容

【1回目のワークショップ】

地区役員の方に集まっておいただき、台風等により土砂災害が起きることを想定し、地区として事前に「いつ・誰が・どのような行動」を取るべきかをワークショップ形式で意見を出し合い素案を作成する。

【2回目のワークショップ】

1回目のワークショップの内容の確認と、作成したコミュニティタイムラインを用いて図上訓練や、集会所を使用した垂直避難訓練を実施する。

◆効果

昔からある山手集落の住民は、避難される方が少ない傾向であるが、地区役員が集まり、ワークショップ形式で互いに意見を出し合うことで、近年の台風、大雨に対して、いかに地区の住民を避難させるかといった「避難」に対して意識を持ってもらえるようになった。また、作成したタイムラインの表に「マイ・タイムライン」の欄を作り、事前に住民一人ひとりがどのように、行動するべきかを考えていただく機会になった。



ワークショップの様子

河南町